

アヘン戦争

法則化中学／紫音 田中繁一 (E-mail:shige-ichigo-ichie@ebony.plala.or.jp)

香港の写真を何枚か提示する。

ジャッキー・チェンや、100万ドルの夜景、ビルをかすめて飛ぶ飛行機の写真を提示して惹きつける。

「ここはどこですか。」と問うてもよい。(しかし、自分のクラスでは出なかった。)

香港の位置を地図で確認し、中国の領土であることを押えておく。

発問1 「1997年までの香港の旗です。ある国の旗が含まれています。どこですか。」

イギリス

説明1 「香港は、1997年までイギリスの支配下にありました。その理由を考えていきましょう。」

発問2 「1840年ころの中国です。当時は何と言いましたか。ヒントは、漢字1文字です。」

清

説明2 「彼らは、政府に反対でした。」

発問3 「この頃のイギリスと清の貿易を図に表したものです。→に当てはまるものは何ですか。」

清→イギリス：茶／イギリス→清：銀

説明3 「このため、イギリスから銀がなくなっていき、イギリスの経済はうまくいなくなってきました。」

発問4 「そのためにイギリスが利用したのが、ケシという植物です。この植物、今の日本で栽培すると逮捕されます。なぜですか。ノートに書きなさい。」

麻薬(アヘン)だから

発問5 「アヘンとお茶だったら、どちらが値段が高いですか。」

挙手で問う。

アヘン

説明4 「そのため、今度は清からアヘンが出ていくことになり、清が困りました。当時の清の皇帝・道光帝は、アヘンを全て捨てるように指示します。」

発問6 「これに対し、イギリスはどう対応しましたか。」

三択で問う。

①清の行動を正しいと認め、謝罪した。／②こっそりアヘンの貿易を続けた。／③逆ギレした。

説明5 「イギリスの首相・ピールです。『我が国の商品を勝手に取り締まるとは許しがたい。』と言い、軍の派遣を決めました。」

ということで、正解は③

発問7 「こうして始まった戦争を何といいますか。教科書から読み取ってノートに書きなさい。」

アヘン戦争

指示1 「アヘン戦争の絵があります。指で押さえなさい。」

指示2 「イギリスの船がこの絵の中にあります。その船の上に“イ”印をつけなさい。」

発問 8 「他は清の船です。イギリスと清、どちらが有利ですか。」

挙手で問う。

イギリス

説明 6 「技術力にまさるイギリスが勝ちました。」

ここで、背景としてのキーワード・産業革命を確認してもよい。

発問 9 「こうして結ばれた、清にとって不利な条約を何とといいますか。教科書から読み取ってノートに書きなさい。」

南京条約

説明 7 「この時に、香港はイギリスの領土となったのです。」

発問 10 「こうして弱った清では、農民の反乱が起き、新しい国ができました。この国を何とといいますか。教科書から読み取ってノートに書きなさい。」

太平天国

説明 8 「太平天国を倒すのにエネルギーを使った清は、ますます弱っていきます。そして、列強といわれる各国の餌食になっていくのです。」

指示 3 「このような、弱肉強食の国際関係のことを帝国主義といいます。皆さんで言きましょう。」

最後に、板書でまとめて授業を終える。